

回文文

回文文の定義は、文字列が逆にならぬように読めることである。例として「アハハ」や「12321」が挙げられる。この定義から、回文文は長さ1以上の文字列であり、かつその逆文字列と一致するものである。また、空文字列も回文文と見做すことができる。

回文文の判定は、文字列の両端から中央に向かって比較を行うことで行われる。例えば「アハハ」の場合、左から「ア」を、右から「ア」を取り出し、両者が一致していることを確認する。次に「ハ」を、右から「ハ」を取り出し、両者が一致していることを確認する。最後に「ハ」を、右から「ハ」を取り出し、両者が一致していることを確認する。このようにして、文字列の両端から中央に向かって比較を行うことで、回文文かどうかを判定することができる。

回文文の判定は、文字列の両端から中央に向かって比較を行うことで行われる。例えば「アハハ」の場合、左から「ア」を、右から「ア」を取り出し、両者が一致していることを確認する。次に「ハ」を、右から「ハ」を取り出し、両者が一致していることを確認する。最後に「ハ」を、右から「ハ」を取り出し、両者が一致していることを確認する。このようにして、文字列の両端から中央に向かって比較を行うことで、回文文かどうかを判定することができる。

回文文の判定は、文字列の両端から中央に向かって比較を行うことで行われる。例えば「アハハ」の場合、左から「ア」を、右から「ア」を取り出し、両者が一致していることを確認する。次に「ハ」を、右から「ハ」を取り出し、両者が一致していることを確認する。最後に「ハ」を、右から「ハ」を取り出し、両者が一致していることを確認する。このようにして、文字列の両端から中央に向かって比較を行うことで、回文文かどうかを判定することができる。

回文文の判定は、文字列の両端から中央に向かって比較を行うことで行われる。例えば「アハハ」の場合、左から「ア」を、右から「ア」を取り出し、両者が一致していることを確認する。次に「ハ」を、右から「ハ」を取り出し、両者が一致していることを確認する。最後に「ハ」を、右から「ハ」を取り出し、両者が一致していることを確認する。このようにして、文字列の両端から中央に向かって比較を行うことで、回文文かどうかを判定することができる。

